

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(地域公共交通調査等事業)

令和6年2月28日

北海道運輸局

協議会名: JR室蘭線活性化連絡協議会

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③事業の今後の改善点 (特記事項含む)	評価結果	
JR室蘭線 活性化連 絡協議会	<p>【沿線住民に対する公共交通の利用実態・意向調査】</p> <p>◇調査目的: 室蘭線沿線の公共交通(鉄道・バス)利用状況と、利用者ニーズを把握し、今後の公共交通のあり方を検討するため、室蘭線沿線5自治体において、満18歳以上の男女計800人を対象に調査を実施。</p> <p>◇配付日: 8月8日(回答期限8月31日)</p> <p>◇配付数: 800通</p> <p>◇回答数: 253通(回収率31.6%)</p> <p>沿線の高等学校16校を対象に併せて、調査を実施。</p> <p>◇配付: 9月5日 回答期限9月20日</p> <p>◇配付数: 480通 回答数125通(郵送55通、WEB70通) 回収率26.0%</p> <p>【鉄道・バス共通時刻表制作】</p> <p>◇配付日: 8月上旬</p> <p>◇配付先: 沿線の各駅・公共施設・高等学校等のほか、上記アンケート調査対象世帯に配付(計37,000部)</p>	A	<p>・引き続き沿線住民の生活の足を確保していくため、マイルール意識の醸成を図る取組みや利用促進に向けた取組みを推進していく必要がある。</p> <p>・JRと並行して運行するバス事業者等と相互に利便性を補完し、利用者の満足度を高められる仕組みの構築や連携した取組みに対し協力・支援していく必要がある。</p>		
	<p>【室蘭線・日高線連携の観光による鉄道利用促進事業】</p> <p>◇実施内容: 日高線と室蘭線が連携して、カードラリーを実施することにより観光への付加価値を高めるとともに、JR北海道が札幌圏において、土日祝に発売するフリーきっぷ「一日散歩きっぷ」利用者を対象としたバスとの連携事業を実施することにより、回遊性向上と札幌圏からの誘客を図る。</p> <p>◇対象区間: JR室蘭線(岩見沢駅～沼ノ端駅)</p> <p>◇実施期間: 7月29日(土)～9月30日(土)</p> <p>◇連携事業者: 北海道中央バス、あつまバス</p> <p>◇アンケート調査: 「ご当地カードラリー事業」において、異なる3種のカードを集め、プレミアムカード引換者を対象にアンケートを実施。</p> <p>◇アンケート集約結果 63件</p>	A	<p>・札幌圏から近距離にある沿線の優位性を活かし、沿線観光素材や地域施設、イベント等との連携による誘客施策を検討していく必要がある。</p>	<p>・事業は計画どおりに実施されている。</p> <p>・今後、持続可能性と利便性の高い地域公共交通への再構築に向けて取り組んでいきたい。</p>	
	<p>【モーダルミックスによる鉄道利用促進事業】</p> <p>◇実施内容: JR定期券利用者を対象とした沿線のバスに無料で乗車可能とする取組により、公共交通サービスの利便性向上による利用促進効果の把握及び課題等の検証を実施。</p> <p>◇対象区間: JR室蘭線(岩見沢駅～沼ノ端駅)</p> <p>◇実施期間: 7月29日(土)～9月30日(土)</p> <p>◇対象定期券: 「追分＝安平＝早来＝遠浅＝沼ノ端」のいずれかの駅間を含む室蘭線の通学・通勤定期券</p> <p>◇対象路線バス: あつまバス(苫小牧駅前～早来駅前)</p> <p>◇WEBアンケート調査: モーダルミックス事業の効果検証に資するため、満足度等について、アンケート調査を実施。</p> <p>◇アンケート集約結果: 19件</p>	A	<p>・公共交通全体でフリークエンシーを向上させ、通勤・通学の利便性を高めていくための取組みについて、交通事業者等と検討していく必要がある。</p>		